



慶應義塾大学ビジネス・スクール

花王株式会社

経営哲学・組織と人間・情報システム、1971-2004

5

花王の経営哲学

「清潔な国民は栄える」¹

10

1935年（昭和10年）に掲げられた花王の社是である。清潔とは、単に服装が清潔であるだけではない。心の髓から浄化し、そこから企業人は何のために働いているのかを問うことである。

（付属資料 1.2.3 参照）

給与は花王からでていてのではない。花王商品を買っていただいたお客さまからいただいているのである。だからこそ、消費者に奉仕する精神がなければならない。その精神とは、絶えず清くなければならない。目先の利益に溺れ、無理承知で販売合戦をやるのは、清く正しい社会人のやるべき行為ではないということである。また、企業人の前に社会人であれ。大衆とは尊いものである。だから人間を尊重しあう経営を行わなければならないということも同時に意味している。

15

そして1975年（昭和50年）、この精神と当時の社長丸田芳郎氏の“社会に奉仕する姿勢”、“平等の精神”、“企業とは人を育成する場”という哲学に基づいて、「経営理念」が制定された。

20

¹ 1995年に経営理念はリニューアルされており、この言葉は2004年現在広く花王で認識されている言葉ではない。

本ケースは、巻末に示す文献をもとに、慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授高木晴夫の指導のもと、同修士課程 M25 期生の丹徹也が編集して作成した。クラス討議の資料とするもので、経営及びリーダーシップの適否を例示しようとするものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> 慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 高木晴夫、丹徹也（2004年作成）